



～ふるさと応援寄附（ガバメントクラウドファンディング）～

室内ホッケー用スティック贈呈式

昨年、「2020年、夢への挑戦！小さなまちの子どもたちが世界で輝くプロジェクト」をテーマに実施した、ふるさと応援寄附「ガバメントクラウドファンディング」で、目標寄付額150万円に対し、目標を大きく上回る464万円のご支援を全国からいただきました。

小学生がホッケーを始めたいと思う1番の理由は「室内ホッケーが楽しかったから」というものです。しかし、これまで用具の破損によって、存分に楽しめない現状があったため室内用ホッケー用具を購入しました。

そして、10月15日に、八川小学校で室内用ホッケー用具の贈呈式行われました。贈呈式後には、プロジェクト達成を記念し、八川地区出身のロンドンオリンピックホッケー競技女子日本代表選手の津田志穂さんをお迎えして、新しい用具で室内ホッケー交流会を行いました。

この室内用ホッケー用具は、未来のオリンピックの育成に繋がることを期待し、町内全小学校に渡ります。

クラウドファンディング (crowdfunding) とは

群衆 (crowd) と資金調達 (funding) を組み合わせた造語で、インターネットを通して自分の活動や夢を発信することで、想いに共感した人や活動を応援したいと思ってくれる人から資金を募るしくみ。

ガバメントクラウドファンディングとは

自治体がプロジェクトを立ち上げ、それに関心や共感した方から寄附を募るしくみ。



購入した室内ホッケー用具

奥出雲交通株式会社 貸切バス事業者安全性評価認定制度 「一ツ星」認定

奥出雲交通株式会社の貸切バス事業は、公益社団法人日本バス協会の「貸切バス事業者安全性評価認定制度」において、安全確保への取り組みが優秀な貸切バス事業者に与えられる安全性評価認定「SAFETYBUS」一ツ星に認定されました。



安全に対する取組状況が優良なバス会社であることを示すシンボルマークです。「SAFETY BUS」(セーフティバス)は、安全に対して弛まぬ努力をし続けていることを意味します。

これからも、皆様が安心して、奥出雲交通株式会社の貸切バス事業・路線バス事業をご利用いただけるよう、最高位である「三ツ星」を目指し、日々努力を続けてまいりますので、ご愛顧いただきますようお願いいたします。

9月25日、厚生労働大臣から学校法人仁多学園島根リハビリテーション学院に令和元年度献血運動推進協力団体等厚生労働大臣感謝状が贈呈されました。

これは、献血運動の推進に、積極的に協力し、他の模範となる実績を示した会社、学校等が表彰されます。リハビリテーション学院は、献血運動に21年参加し、献血者は累計で898人に達し、献血者確保に貢献されています。



島根リハビリテーション学院
令和元年度献血運動推進協力団体等
厚生労働大臣感謝状を授与

U18男子ホッケー日韓交流大会報告会及びU18女子ホッケー日韓交流大会激励式

10月18日、横田高校から日本代表として5人の選手が選出されたU18男子ホッケー日韓交流大会報告会及びU18女子ホッケー日韓交流大会激励式が役場横田庁舎で開催されました。勝田町長からは、「国際大会で日本代表として、奥出雲町の選手が活躍する事は、ホッケーの町として誇りに思う」と挨拶がありました。そして、男子選手からは韓国選手との試合の感想、女子選手からは意気込みを語ってもらいました。

U18男子ホッケー日韓交流大会

開催日:10月10日～16日
会場:韓国

前田 美結さん(3年)
オランダ遠征で学んだ事を活かし、チームに貢献したいです。

U18女子ホッケー日韓交流大会

開催日:10月21日～25日
会場:岐阜県名務原市



石田 起弥さん(2年)
ゴールキーパーとして全体を見て動くことができました。韓国選手とは、ジェスチャーを使いながら交流をしました!

佐伯 郁海さん(3年)
初めての日本代表で、日本選手と海外選手の違いを感じました。今後のプレーに活かしていきたいです。

品玉 結生さん(3年)
海外選手と戦える貴重な機会。ミッドフィルダー(繋ぎ役)として、周りにいいパスを出したいです。

長谷川 美優さん(3年)
昨年の日本代表では、思うようにプレーができなかったため、今回はチームに貢献したいです。

第103回仁多郡陸上競技大会

仁多郡陸上競技大会が10月13日、三成公園陸上競技場で開催されました。小学生から一般の選手までが日頃の練習の成果を競い合いました。また、応援席では、熱いエールが秋晴れの空に響いていました。

大会新記録

中学2年男子100m 11秒58 藤原琉成(仁多中)
一般男子5,000m 15分5秒21 田部幹也(三沢)
一般男子走高跳 1m92cm 吉川和希(布勢)

大会結果

部門名	優勝(得点)	準優勝(得点)
小学生男子の部	横田小(43.5点)	三成小(29点)
小学生女子の部	亀嵩小(32点)	阿井小(29点)
中学校男子の部	仁多中(77点)	大東中(56点)
中学校女子の部	仁多中(73点)	横田中(54点)
一般男子の部	三成(91点)	阿井(67点)
一般女子の部	馬木(37点)	阿井(32点)



地域づくりフォーラム馬木

元気で生き生きと安心して暮らせる住み続けたい馬木地区を目指し、活動に取り組んでいます。8月から元気と賑わいを創出するために「あおぞら市」が2ヶ月に1回開催されており、馬木地区でできた新鮮野菜・果物・新米・地元加工所が作る食品が並びます。たくさんの人と交流する場となっており、地域に活力と賑わいが生まれています。

また、馬木地区の方が地域の課題に対し、どのような意識を持っているかを確認するために中学生以上を対象にアンケートを実施されました。地域全体でワークショップを2回開催し、地域の魅力、現状、課題を洗い出し、特に必要性の高い課題をアンケートに盛り込まれました。この結果を受け、今後の計画づくりや実践活動に取り組まれます。

